

ふれあいネットワーク

社協 まつもと

発行 社会福祉法人 松本市社会福祉協議会 電話 27-2000
編集 社協まつもと編集委員会 FAX 27-2239
E-mail:syakyoum@avis.ne.jp http://www.avis.ne.jp/~syakyoum/

福祉のあゆみ着実に

第46回松本市社会福祉大会

はつらつと力強く。
四力村と合併後、初の社会福祉大会が七月九日まつもと市民芸術館で開かれました。
大会のテーマ「地域福祉のまちづくりを市民とともに！」を約一七〇〇人の参加者が確認しました。

▲講師の樹木希林さん



▶市民芸術館には約一七〇〇人が参加

- ・安心・安全の地域づくりを…2P
- ・社会福祉大会に参加して…3P
- ・里山辺地区社協の活動…3P
- ・あいちゃん…3P
- ・ふくしかわらばん…4P

▶シンポジウムで事例発表



平成17年 No.166

8月15日号

社会福祉協議会は、みなさんの会費で支えられています。

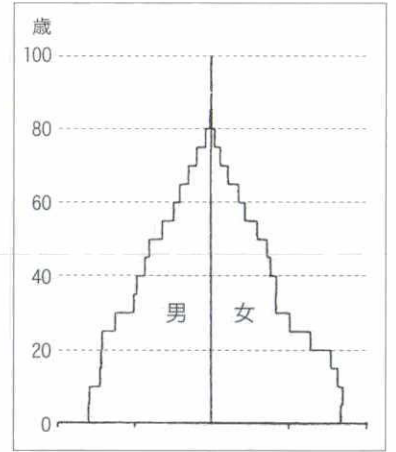
安心・安全の地域づくりを

— 少子・高齢化社会を超えて —

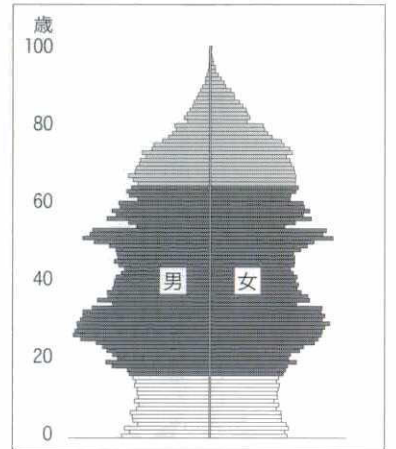


よい子のこいのぼり上げ

心配な現状
右の図は松本市（旧三十地区）の人口ピラミッドの形状を昭和三十年と平成十二年で比較したものです。
わずか四十五年の間に年少人口が土台を固めたピラミッド型から壺型に変わり、その膨らみの生産年齢人口が老年人口を押し上げていく気配です。加えて出生率の低下傾向



昭和30年の人口ピラミッド



平成12年の人口ピラミッド

これからどうする？
福祉活動の形態として常々「自助・共助・公助」と言われていますが、公助のみに頼らず、自助もあり、また隣近所や町会

このように生産年齢人口がますます減少していく現在にあって、私たちは今後、何をどのように変えていけば良いのでしょうか。

向によって、今後まさに少子高齢化の不安定な人口ピラミッドが形成されていくであろうことが懸念されます。
こうした傾向は、左下の人口データにもはっきり見られ、どの地区も老年人口の割合が年少人口の割合を大きく超えています。

新松本市の人口データ

旧松本30地区（総人口207,993人）	
年少人口（14歳未満）	30,777人（14.8%）
生産人口（15～64歳）	134,484人（64.7%）
老年人口（65歳以上）	42,732人（20.5%）
四賀地区（総人口6,051人）	
年少人口（14歳未満）	686人（11.3%）
生産人口（15～64歳）	3,430人（56.7%）
老年人口（65歳以上）	1,935人（32.0%）
安曇地区（総人口2,140人）	
年少人口（14歳未満）	241人（11.3%）
生産人口（15～64歳）	1,321人（61.7%）
老年人口（65歳以上）	578人（27.0%）
奈川地区（総人口1,026人）	
年少人口（14歳未満）	124人（12.1%）
生産人口（15～64歳）	551人（53.7%）
老年人口（65歳以上）	351人（34.2%）
梓川地区（総人口11,299人）	
年少人口（14歳未満）	1,667人（14.8%）
生産人口（15～64歳）	7,052人（62.4%）
老年人口（65歳以上）	2,580人（22.8%）

（平成17年7月1日現在）

でもお互いに助け合い支え合っていこうという共通の動きも出ています。その具体例は七月九日の社会福祉大会のシンポジウムでも発表されました。蟻ヶ崎東町会の場合、高齢化率は二六・五%です。

ここで、町内の各種団体が連携し、日常的に取組むべき取り組みが期待されます。

り組める共助は何かということを模索してきたこと。まず、高齢者が何を求めているのかを調べました。そこから、例えば一人暮らしの方のために月一回は「だべりの集い」を開いたり、また「結の会」を結成して協力員の手を借りたりしながら町会内の共助を進めてきました。



健康づくりも盛ん



楽しく世代間交流



ねぎらいの言葉を
芸術館で最初の福祉大会
は新松本市誕生を記念して
の大会で例年以上に華やか
でした。
受賞者は緊張の面持ちで
座っていましたが会場は大
盛況でした。
ただ民生委員以外で受賞
された方々の十年間にわた
る地道な活動を評価して、
一言ねぎらいの言葉があれ
ばより一層の励みになるの
ではと思いました。
(里山辺地区・女性)

社会福祉大会に参加して

若い人もいっしょに
シンポジウムでは被災
地でのボランティア活動
で仲間ができたことや、
スポーツ少年団で焼津市
と二十五年間交流したこ
となどの事例発表があり
ました。
樹木希林さんの講演内
容は「人はそれぞれ異な
って当然」
若者と高齢者、障害の
ある方や他の地域の人々
がそれぞれ一緒に福祉に
参加することで暮らしや
すい地域がつけられるの
だと思いました。
(四賀地区・男性)

え合わなくては福祉は進ま
ない。それにはまず実践か
ら始めること」と話されて
いました。
私は自然豊かな自分の住
んでいる地域が好きですが
ここで近所仲良く暮らし
ている今がとても幸せなこ
とと感じました。
(梓川地区・女性)

一人ひとりの参加を
「社会福祉」というと、そ
の内容は非常に地味ですが、
しかしその活動には市民一
人ひとりが充分に理解して
積極的に参加することが大
切なのだと思えさせられま
した。
(安曇地区・男性)

支え合いこそが大切
今回のシンポジウムで
は白戸洋氏が「地域には
仲の良い人ばかりではな
いし、その地域を好きな
人ばかりでもないが、支
え合いこそが大切」
特に娘さんの話では、その
文章から滲み出るやさしい
思いやりは、小さなころか
ら培われたものなのだなど
あらためて感動しました。
(奈川地区・女性)

里山辺地区社協ではこんな活動をしています

7月6日と13日に里山辺公民館で「ふれあい会食会」が開かれま
した。ボランティア部員が腕を振ったお弁当と、民生児童委員が
ペットボトルから作った花飾りが並べられ、招かれた高齢者の皆さんからは明るい笑顔
がこぼれていました。また七夕にちなみ、短冊に願いを書いて
笹の葉へ飾りつけま
した。



南北合わせ90人が参加

会食会の後に新築さ
れた福祉ひろばで催し
たコンサートにも大勢の人が集まりました。



食卓には花飾り



マンドリン&ピアノ演奏



【当日のメニュー】きび御飯、豆腐の味噌汁、鮭
のさっぱり煮、豚もも肉の野菜巻き揚げ、蕎麦
サラダ、大根の梅酢漬け、フルーツ

ふ く し ・ み ゃ ぎ ば ん

赤い羽根共同募金にご協力ください

— 地域の福祉、みんなで参加 —

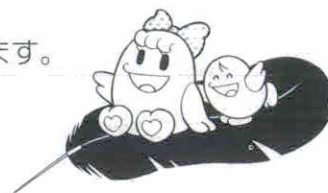
全国一斉10月1日～12月31日 今年度の目標額は 33,808,000円 です。

赤い羽根共同募金は、町会児童遊園地の整備・広報誌「社協まつもと」の発行・町会福祉モデル事業への補助・福祉団体や施設への助成・社会福祉大会の開催・災害見舞金など、私たちのまちの福祉活動を進めるために使われます。

誰もが幸せに暮らしていくために、今年もみなさんのご協力をお願いします。

■受付窓口・問い合わせ

松本市双葉4-16 松本市社会福祉協議会内
長野県共同募金会松本市支会 (☎27-3381)



高齢者作品展の作品募集

高齢者が趣味として制作した作品を募集します。

- ◆募集部門 絵画・写真・書・工芸・手芸
- ◆出品点数 1人につき3作品まで
- ◆締め切り 平成17年8月31日(水)
- ◆作品搬入 9月7日(水) 午後1時から
- ◆展示日 9月8日(木)～9日(金)
- ◆会場 総合社会福祉センター(双葉4-16)
- ◆申し込み 氏名・年齢・部門・作品名を明記
各地区高齢者クラブ連合会または
松本市高齢者クラブ連合会まで
- ◆問い合わせ 松本市高齢者クラブ連合会事務局
(☎27-3381)

「スペシャルオリンピックスを語る会」へのご参加をお待ちしています

2005年スペシャルオリンピックス(SO)冬季世界大会にホストファミリーやボランティアとしてご協力いただいた方、またSOの活動に関心のある方などにお集まりいただき、体験談や思い出を語り合うことで、今後の地域福祉づくりについて考えます。

- ◇日時 8月21日(日)
午後1時30分～4時
- ◇会場 本郷公民館(浅間温泉2-9-1)
- ◇申し込み・問い合わせ
松本市社会福祉協議会
地域福祉課 (☎27-3381)

※世界大会の写真展示・ビデオ上映もあります。

運転ボランティアをしてみませんか

障害をお持ちの方や高齢者の方が、通院や買い物等で外出が必要となったときに、送迎のお手伝いをしていただく「運転ボランティア」を募集します。

- ①社会福祉協議会の福祉自動車(スロープ付きの軽自動車・普通自動車)で活動ができる方
- ②個人所有の自家用車で活動できる方

- 申し込み・問い合わせ
松本市ボランティアセンター
(☎25-7311)



災害救援ボランティアセンター設置運営訓練を実施します

新潟県中越地震や福井県集中豪雨など、全国各地で自然災害や局地災害が多発しています。

もしも災害が発生した際に私たちはどう対処し、また地域の中でお互いに助け合うことができるでしょうか。

皆さんも一緒に「防災の日」の訓練に参加しませんか。

- ◎日時 9月1日(木) 午後5時～7時40分
- ◎会場 山辺小学校体育館(入山辺34)
- ◎申し込み・問い合わせ
松本市ボランティアセンター (☎25-7311)